

山家屋敷地区は、筑紫野市大字山家に位置し、斜面下方には人家が近接する高さ28m、勾配42°の急傾斜地である。

当該箇所は、令和5年7月の梅雨前線豪雨により斜面崩壊が発生しており、他の斜面にも表層崩壊跡が見られ、今後の大雨等により斜面崩壊が発生するおそれがある。保全対象には人家、市道があり、地域住民の生命、身体の安全を守るため、早期に崩壊防止対策を実施する必要がある。

なお、地域防災計画では、土砂災害の危険箇所位置付けられている。

○がけ崩れによる土砂災害からの保全

保 全 人 家：13戶

保全公共施設：市道

土 砂 災 害 防 止 法 ： 土砂災害警戒区域等の指定済（平成22年8月25日告示）

斜 面 勾 配 : 42° (最大)

斜 面 高 さ : 28m (最大)

斜面崩壊の有無：有り

箇 所 名 : 筑紫野市大字山家

整 備 内 容 : 法枠工 $A=3,950\text{m}^2$ 、待受工 $L=121\text{m}$

全 体 事 業 費 : C=4.9億円

事業着手年度：令和7年度

完 成 目 標 年 度 : 令和16年度

費用便益比：2.8

・事業に対する要望・協力体制

要 望 書 : 地元自治会からの要望(令和6年10月)
筑紫野市からの要望(令和6年10月)

